



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第42号

2014年11月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」をめざします。

【患者の権利と義務】

◇患者の権利

- 1.良質で公平な医療を受けられる権利があります。
- 2.人格や価値観を尊重される権利があります。
- 3.診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 4.治療法を選択できる権利があります。
- 5.病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
- 6.個人情報を守られる権利があります。
- 7.貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者の義務

- 1.ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
- 2.検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
- 3.他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
- 4.医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目 次

2. 「新任のご挨拶」

神経内科医師 河本 修

「薬剤師の仕事」

薬剤科長 山内 一恭

3. 「喘息診断・管理の新技术」

和歌山病院院長 南方 良章

4. 医療マネジメント学会和歌山支部学術集会 開催のご案内

5. 「新病棟建替工事再開のお知らせ」

「第14回 健康福祉まつりに参加して」

副看護部長 田中 康晴

6. 「外来診療担当表」・「職員募集案内」

新任のご挨拶



神経内科医師

河本 修

今年の8月より神経内科に勤務させていただいている河本 修と申します。卒後3年目です。

卒後2年間は神戸大学医学部附属病院で2年間の研修を修了しました。神戸大学病院では神経内科、循環器内科、糖尿病内科、膠原病内科、腎臓内科、総合内科、精神科などをローテーションしました。

和歌山県はALS（筋萎縮性側索硬化症）の多発地域であったこともあり、神経難病の

興味ある症例も多いと聞いています。それで今回、神経内科だけでなく内科全般の臨床の勉強をさせていただきたいと思い、勤務させていただいております。

こちらの病院では、スタッフのみなさんが優しく接していただいている、病院全体が家庭的で温かい雰囲気を感じています。

趣味・特技は、卓球、テニス、華道、将棋、鉄道です。卓球は中学校の部活動に3年間所属し、テニスは小学6年生から大学1年生まで地元のテニスクールに通っていました。華道・将棋は大学の部活動で6年間続けていました。卒業後も時々、学園祭のイベントなどに参加しています。鉄道については特に乗ることが好きで、2015年に開業する北陸新幹線、2016年に開業する北海道新幹線には機会があれば乗りたいと思っています。

まだまだ未熟な点も多いですが、どうぞよろしくお願いいたします。

薬剤師の仕事 一病棟薬剤業務と薬薬連携一

薬剤科長 山内 一 恭



現在の薬剤師の業務分担は、病院薬剤師は、入院患者様の薬物療法を担当し、薬局薬剤師は、入院外患者様の薬物療法を受け持つことになっています。

平成24年の診療報酬改定では、病棟薬剤業務実施加算が新設され、①薬剤の種類、投与量、投与期間等の変更や検査オーダーについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコルに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と共同して実施すること。②薬剤選択、投与量、投与方法、投与間隔について、医師に対し、積極的に処方提案

すること。③持参薬の内容を確認し、服薬計画を提案する。等々が定められ、これまで実施していた服薬指導を代表とする患者に対する薬剤管理指導だけではなく、医師等の医療スタッフの業務の軽減・医療安全対策に資する業務が重要となってきています。当院においては、実施加算取得には至っていませんが、できることからコツコツと実施しています。また、退院患者・外来患者様も継続して、安心・安全な薬物療法を受けていただけるよう、日高地区の薬剤師会との情報交換も含め、毎月、合同で勉強会を開催し、その回数は、すでに200回を超えています。

我々薬剤師は、当院受診の患者様だけではなく、全ての患者様に安全に薬物療法を受けていただけるよう、また、地域の先生方にも安心して、患者様を任せていただけるよう、日々研鑽しています。

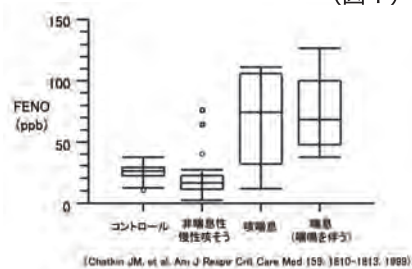
喘息診断・管理の新技术 —呼気一酸化炭素濃度(FENO)測定—

国立病院機構 和歌山病院院長 南方良章

気管支喘息は気管支における好酸球性の炎症性疾患であります。そのため、従来から喀痰中の好酸球増加の確認が診断の目安の一つとなっていました。しかし、喀痰採取は必ずしも容易でない場合も多く、強制的喀痰採取のために、3～5%NaCl吸入による誘発喀痰法も試みられることもあります。これに対し、近年、呼気中の一酸化窒素濃度(FENO)が、喘息の診断・管理の指標として注目され、ガイドラインでも推奨されています。

一酸化窒素(NO)は、気道炎症が存在する時、気道上皮細胞内で、NO合成酵素(NOS)を介してL-アルギニンがL-シトルリンに変換される際に産生され、気道内に放出されます。好酸球性の気道炎症疾患である気管支喘息では、呼気中のNOが高値になります。このFENOの開発と臨床導入に関しては、私を含め和歌山県立医科大学内科学第三講座のスタッフが携わってま

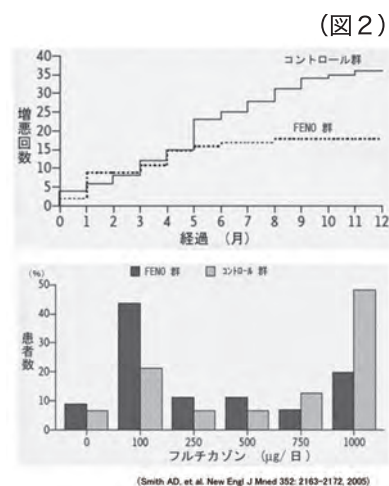
(図1) いりました。



は低値であるのに対し、咳喘息や気管支喘息では明らかに高値を示し、鑑別には極めて有用であります(図1、Chatkin JM. AJRCCM 159:1810,1999)。日本人では、健常者と喘息患者を鑑別するにはFENO 22ppbとすると感度90.8%、特異度83.9%を示し、最適なカットオフ値と考えられます(Matsunaga K. Allergol Intern 60: 331,2011)。さらに、吸入ステロイドで喘息治療を開始した場合、FENOの改善率は一秒量や気道過敏性の改善率と有意な相関関係を示し、治療効果の判定にも

有用であります(Ichinosse M. AJRCCM 162: 701,2000)。また、従来のガイドラインに則った治療を行

った場合に比べ、FENO値に基づいて治療を行った場合の方が、喘息増悪の頻度が低い傾向にあり、吸入ステロイドの総使用量が有意



に少ないことも報告されています(図2、Smith AD. NEJM 352:2163,2005)。すなわち、FENOは診断、治療のあらゆる面で極めて有用なマーカーであるといえます。

測定機器は、現在NIOX-MINO(チェスト株、大阪)が国内で販売されており、保健収載もなされています。約10秒間一定スピードで呼出するのみで検査結果が得られますので、患者負担がなく極めて簡便な検査方法であります(図3)。

(図3)

国立病院機構和歌山病院では、積極的にFENO測定を行い、喘息の診断治療を行っております。喘息の診断に難渋する場合や、治療をいつまで続けるのかの判断に難渋する場合、



また治療自体に難渋する場合には、当院にご紹介いただければ、FENO測定を用いて、適切な治療方針をフィードバックさせていただきますので、ぜひともご紹介お願いいたします。

医療マネジメント学会 和歌山支部学術集会を開催します

演題募集中

来年1月31日（土）に日本医療マネジメント学会第10回和歌山支部学術集会を下記のとおり御坊市にて開催させていただくことになりました。

日本医療マネジメント学会は「医療マネジメント手法の開発と普及をはかり、医療の質の向上に寄与すること」を目的に設立されております。今回の学術集会におきましても、医師、看護師のみならず、医療に携わっているすべての職員の皆様方から、和歌山県の医療の質向上のための創意・工夫とその結果について是非ご発表いただきたいと考えております。また、特別講演等には県内外の著名な先生方をお招きして、貴重なお話をお聞きしたいと考えておりますので、貴所属職員にご周知いただき、何卒多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、一般演題及びポスターセッションを募集しておりますので、奮ってご応募頂きますよう併せてお願い致します。

（詳細は和歌山病院ホームページ

<http://www.wakayama-hosp.jp/management/> をご覧下さい）

日本医療マネジメント学会
第10回和歌山支部学術集会
学術集会会長 南方 良章（国立病院機構 和歌山病院 院長）
2015年
1月31日(土) 10時10分～16時00分
御坊市民文化会館
御坊市 258-2 TEL (0738) 23-4881
特別講演 13時00分～14時00分
講師 田中 理恵氏
（日本体育大学児童スポーツ教育学部助教
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事）
田中 章二氏
（和歌山県立和歌山北高等学校教諭）
講演テーマ
スポーツが持つ可能性
演題募集期間
2014年9月8日(月)～11月13日(木)
※ホームページにてご確認ください。
<http://www.wakayama-hosp.jp/management/>
協働し創造する地域医療の未来
和歌山県における地域医療ビジョンを考える

●テーマ 協働し創造する地域医療の未来

～和歌山県における地域医療ビジョンを考える～

●日時 平成27年1月31日（土）10:10～16:00

●会場 御坊市民文化会館 〒644-0002 和歌山県御坊市 258-2 TEL (0738) 23-4881

●プログラム

・特別講演

講師 田中 理恵先生（日本体育大学児童スポーツ教育学部助教

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事）

田中 章二先生（和歌山県立和歌山北高等学校教諭）

演題 「スポーツが持つ可能性」

座長 南方 良章（国立病院機構和歌山病院院長）

司会 笠野 衣美氏（フリーアナウンサー）

・ランチョンセミナー

演者 関本 雅子先生（関本クリニック院長）

演題 「終末期がん患者におけるターミナルケア」（仮題）

座長 池田 剛司先生（公立那賀病院 呼吸器内科 科長）

後援 中外製薬

・シンポジウム

テーマ 「和歌山県における地域医療ビジョンを考える」

座長 中井 國雄先生（国立病院機構南和歌山医療センター院長）

シンポジスト（順不同）

野尻 孝子先生（和歌山県福祉保健部健康局長）

上野 雅巳先生（和歌山県立医科大学地域医療支援センター教授）

池田 剛司先生（公立那賀病院 呼吸器内科 科長）

初山 昌平先生（田辺西牟婁歯科医師会 会長）

新病棟建替工事再開のお知らせ

和歌山病院の病棟建替については、平成23年度に計画がスタートいたしました。南海トラフ巨大地震による津波災害の想定の見直し等、紆余曲折を経て平成26年8月ようやく承認され、着工することになりました。

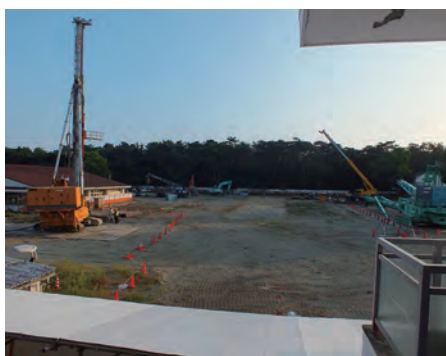
現在は躯体工事に入る段階で建築予定現場（下記現状風景のとおり）の整備を行っています。平成28年2月完成予定で（病棟部門は平成27年11月開棟予定）進行しています。総工費約38億円、地上5階建の耐震設計で、1階部門はピロティ（高さ5.5m）構造にして、津波の抵抗を最小限に抑制する設計としています。

また、災害時にも継続して診療を行え、ライフラインを維持できるよう、5階・屋上に非常用電源、高架水槽、医療ガス、備蓄倉庫等を兼ね備えています。

また、屋上・R階を緊急避難場所として使用できるようスペースを設けているほか、現在の病棟を解体した跡地にはヘリポートを整備することとなっています。

災害時にも十分な医療機能を維持し、患者さんが安心して療養していただける病院にしていきたいと考えています。

平成28年2月完成予定



第14回 健康福祉まつりに参加して

副看護部長 田中康晴

9月15日の敬老の日に御坊市民文化会館において第14回 健康福祉まつりが行われました。

催しは市内の幼稚園の園児が書いた「野菜の絵」の表彰式や和歌山県のマスコットキャラクターの「きいちゃん」が登場し和やかな雰囲気での始まりでした。

当日は「口腔内のカメラ」、「歯のブラッシングの指導」、「お薬相談」、「ベジタブルジュース」の試飲、「サバ餃子」試食、「血管年齢チェック」、「骨密度測定」、「健康相談」コーナーがあり、多くの方が参加されました。当院からも「禁煙チャレンジ」と「乳がんセルフチェック」のコーナーを担当いたしました。

喫煙により汚れた肺の模型と写真に来場された方は驚いておられました。またスモーカーライザーで呼気中の一酸化炭素濃度測定を行いました。禁煙後2カ月経過した方が来られ、一酸

化炭素濃度が正常値になっていたことを大変喜ばれていました。乳がんのセルフチェックも多くの方が体験され、「さっそく帰ってするようにします。」と乳がんの早期発見が大切であることを口々に言っておられました。今後も地域の健康啓蒙活動に参加し、皆さんがより健康に、また病気の早期発見につながるような活動を行っていききたいと思います。





		月	火	水	木	金	
外 科	2 診	担当医 (予約のみ)	畑田 充俊	宮坂 美和子 (乳腺外来)	畑田 充俊	有本 潤司	
循環器内科	3 診	楠山 良雄	—	—	楠山 良雄	—	
	5 診	豊田 康誠	—	—	豊田 康誠	豊田 康誠	
	4・6診	—	—	—	—	—	
神経内科	6 診	綾木 孝	—	河本 純子 (第2・4週)	—	河本 純子	
呼吸器センター	初診	1 4 診	柳本 立太	南方 良章	市川 朋宏	小野 英也	川邊 和美
	初診	1 5 診	—	田中 彩加	—	—	—
	再診	1 6 診	駿田 直俊	小野 英也	柳本 立太	赤松 啓一郎	—
	専門外来 (午後)		—	—	睡眠外来 駿田 (再診)	禁煙外来 乾 宏行 (第1・3週)	睡眠外来 駿田 (初診)
			—	—	COPD外来 担当医	赤松 啓一郎 (第2・4・5週)	—

※受付時間 8:30～11:30 診療時間 8:30～17:00

※再診については原則、予約制にしております。(急患についてはこの限りではありません)

看護師募集中！(①常勤・②非常勤)

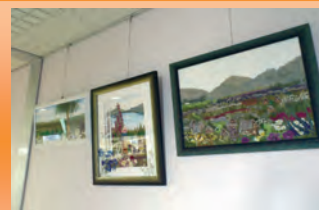
- 募集人数 : ① ②ともに若干名
- 必要資格 : ① ②ともに看護師免許
- 勤務時間 : ① 1日7時間45分の交替制勤務(夜勤有)
② 応相談(1週最大32時間まで)
- 休 日 : ①4週8休制度 ②勤務内容により応相談
- 勤務内容 : ①病棟看護業務
②夜勤専従、病棟・外来日勤等応相談
- 給 与 : ①基本給:188,900円～
(短大3卒の場合) ※各種手当有
②時給:1,410円 ※交通費別途支給



院内宿舎・保育所あります！

ボランティア募集！

例えば・・・外来案内、創作(フラワーアレンジメント・押し花等)、図書(読み聞かせ・貸出等)



押し花



フラワーアレンジメント

お問い合わせは TEL:0738-22-3256 管理課 給与係長まで

独立行政法人国立病院機構和歌山病院

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

院 長／南方 良章 診療部長(内科系)／豊田 康誠
副院長／駿田 直俊 診療部長(外科系)／有本 潤司
呼吸器センター長／柳本 立太

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://www.wakayama-hosp.jp/>